令和７年度徳島木のおもちゃ美術館魅力向上事業

基本計画説明書

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

おもちゃ美術館のシンボルでつながる回廊

大切な4つの計画

1. 出来る限り風雨と日差しをさえぎるゾーニングで、**ベビーカーと利用者に優しく寄り添う**
2. 現在の雰囲気や世界観を変えずに、**わくわくと使い勝手を増幅する**
3. 既存物の撤去や移設、樹木の移植を最小限に抑え、**環境を生かして効率的に作る**
4. 木を贅沢に使った仕上げで、**木育の拠点に相応しい建築物にする**

■備考　-

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		-
TITLE	DATE	No.
コンセプト	2025.06.30	A-01

■備考 –

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		-
TITLE	DATE	No.
現況写真	2025.06.30	A-02

■備考　–

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		-
TITLE	DATE	No.
イメージパース	2025.06.30	A-03

■備考 –

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		-
TITLE	DATE	No.
イメージパース	2025.06.30	A-04

■備考　-

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		-
TITLE	DATE	No.
イメージパース	2025.06.30	A-05

■備考　-

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		-
TITLE	DATE	No.
イメージパース	2025.06.30	A-06

■備考　-

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		-
TITLE	DATE	No.
イメージパース	2025.06.30	A-07

■備考　–

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		-
TITLE	DATE	No.
イメージパース	2025.06.30	A-08

■備考　-

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		-
TITLE	DATE	No.
イメージパース	2025.06.30	A-09

■備考　-

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		-
TITLE	DATE	No.
イメージパース	2025.06.30	A-10

徳島木のおもちゃ美術館

N

・可動家具（ボックス）×４台→撤去
・可動家具（ボックス）×２台→移設

・植栽帯D→木レンガタイルに変更改修

・アルミ製門扉の新設
※周囲生垣→適宜補修

・植栽帯A→木レンガタイルに変更改修
・樹木A→撤去or移植

・可動家具（ボックス）→撤去or移設

・植栽帯B→木レンガタイルに変更改修
・樹木B→撤去or移植

・入りロゲート→基礎を含め解体撤去、木レンガタイルに改修

くつろぎ館

・植栽帯C→木レンガタイルに変更改修

・可動家具（ボックス）→撤去or移設

・既存サイン文字→撤去、本体補修

■備考　－

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		1/100
TITLE	DATE	No.
現況（撤去図）	2025.06.30	A-11

徳島木のおもちゃ美術館

3140

10891

N

• 管理用出入口門扉新設

W=1556

ゲートC

ゲートB

シンボルツリーB

メイン看板

シンボルツリーA

ゲートA

8126

10697

2571

11302

19155

1617

2288

3949

300

2641

2969

16915

くつろぎ館

■備考 –

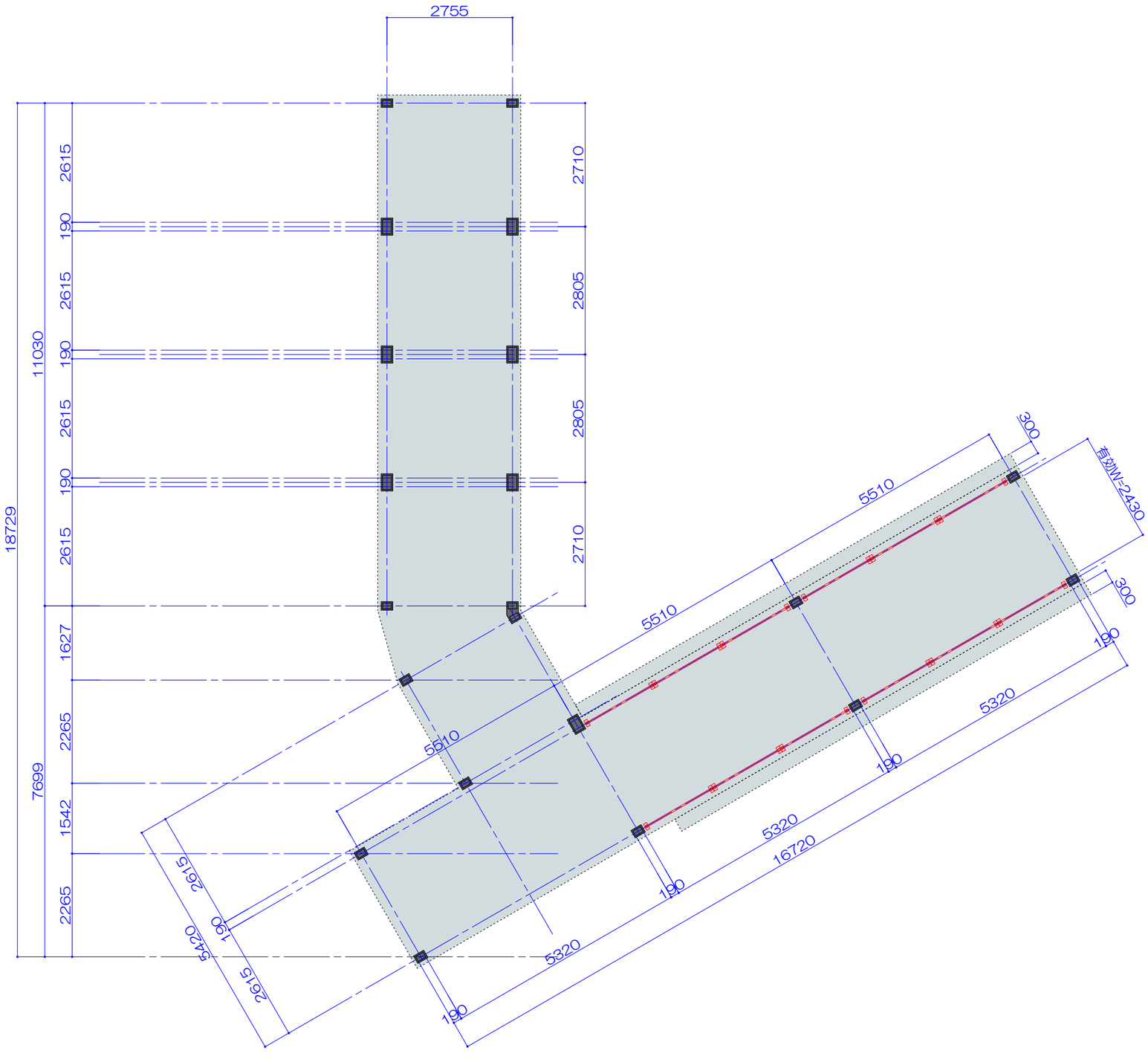
TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		1/100
TITLE	DATE	No.
配置図	2025.06.30	A-12

■備考　-

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

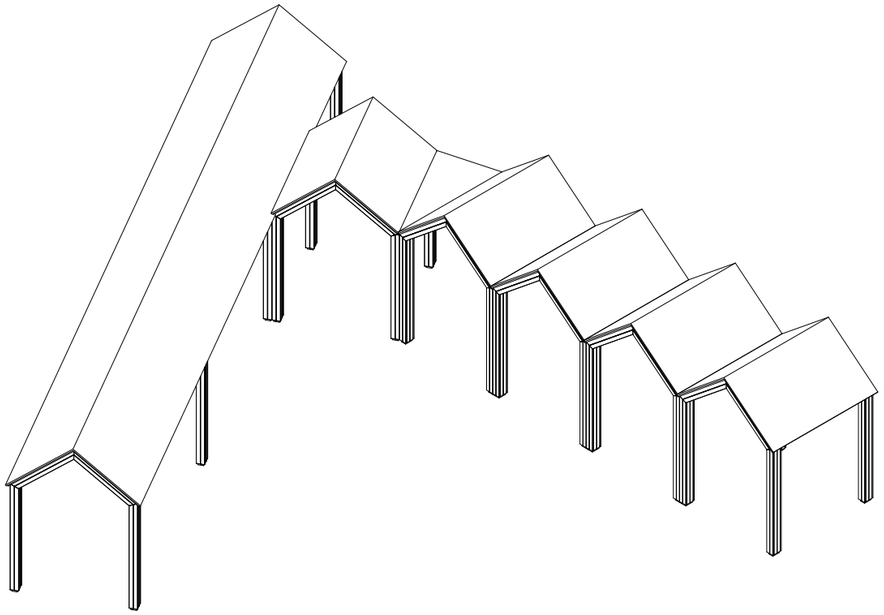
PROJECT		SCALE
		1/100
TITLE	DATE	No.
ゾーニング図	2025.06.30	A-13

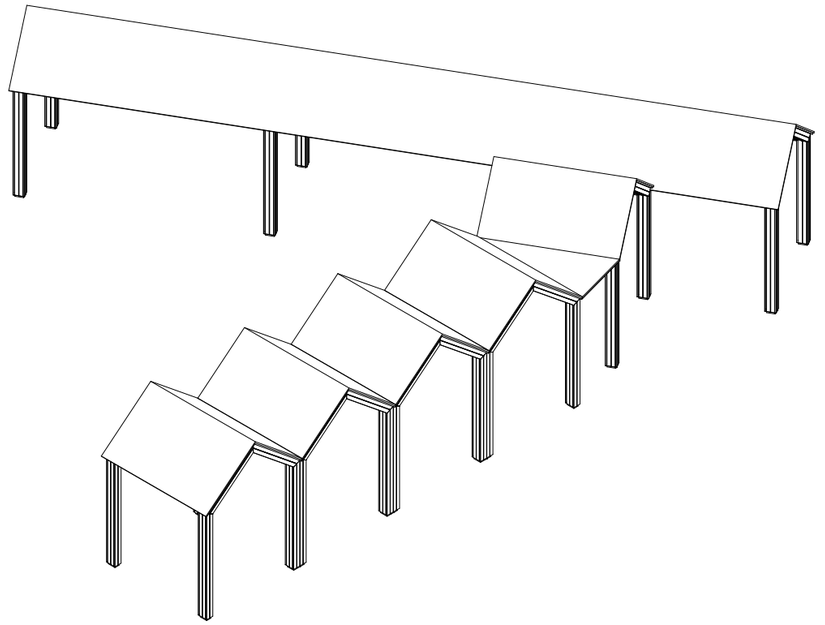


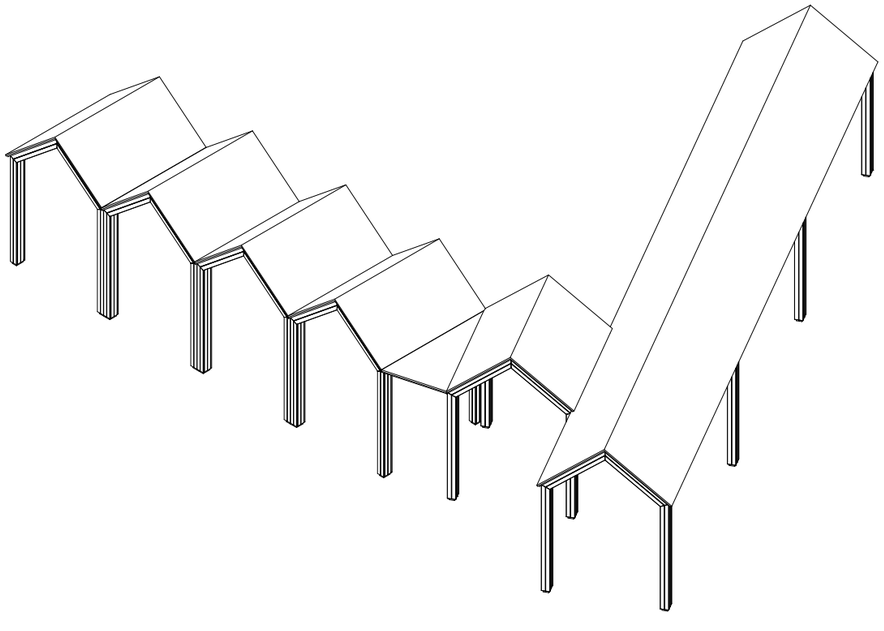
■備考 －

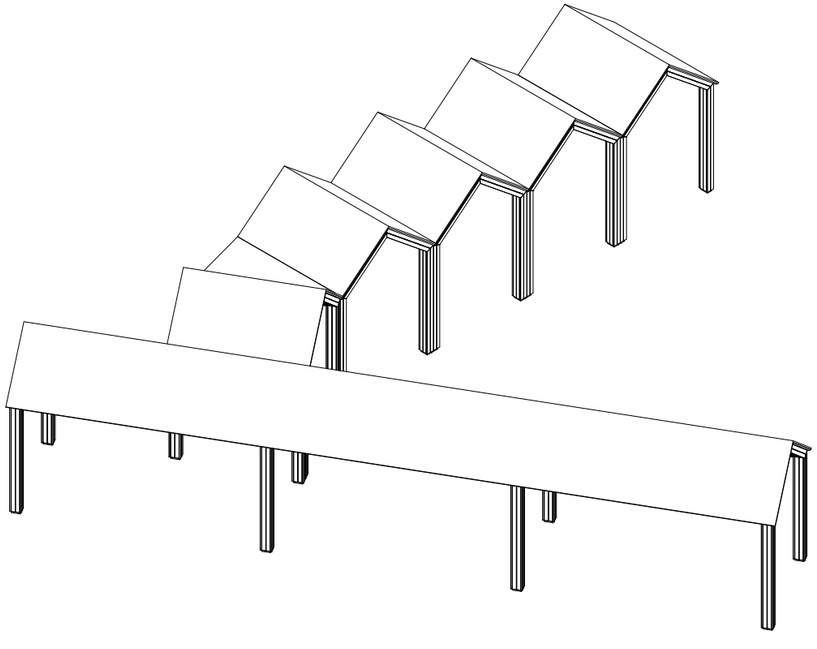
TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		1/100
TITLE	DATE	No.
平面図	2025.06.30	A-14





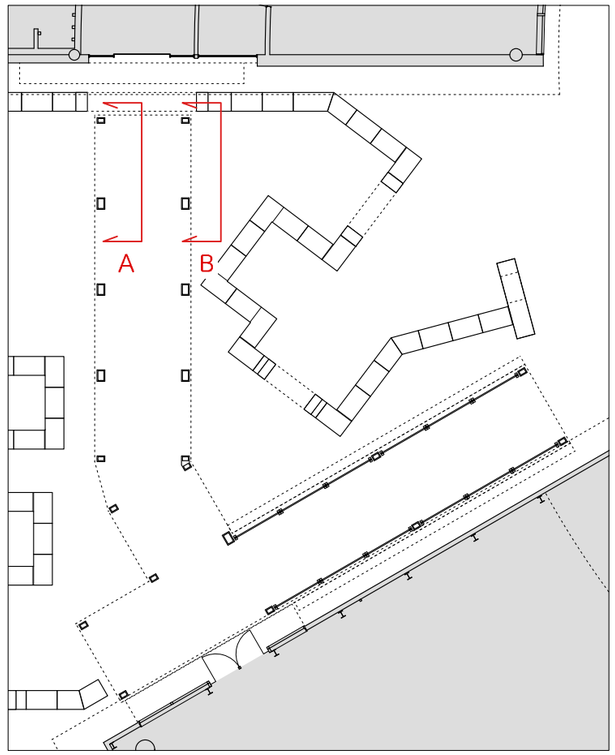


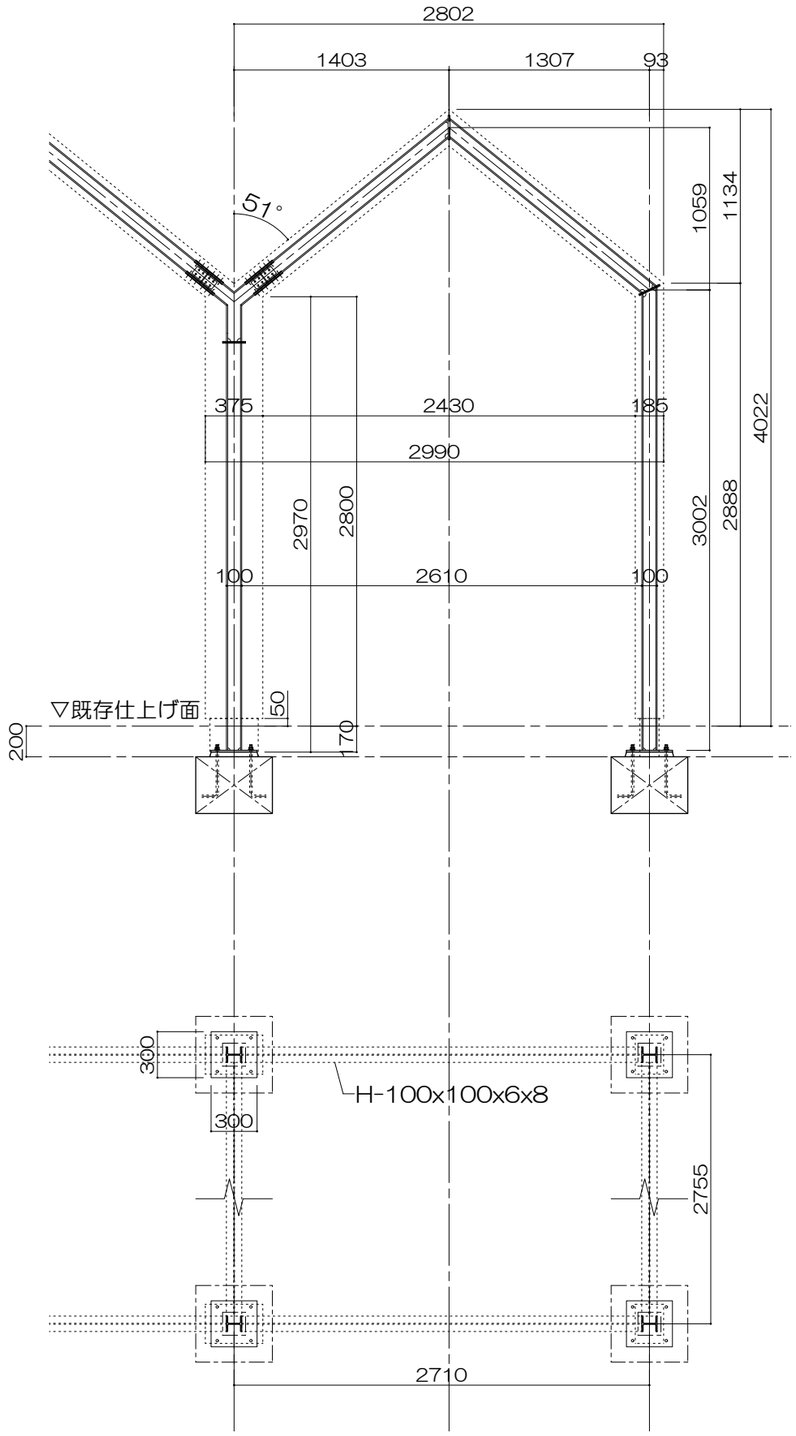


■備考　-

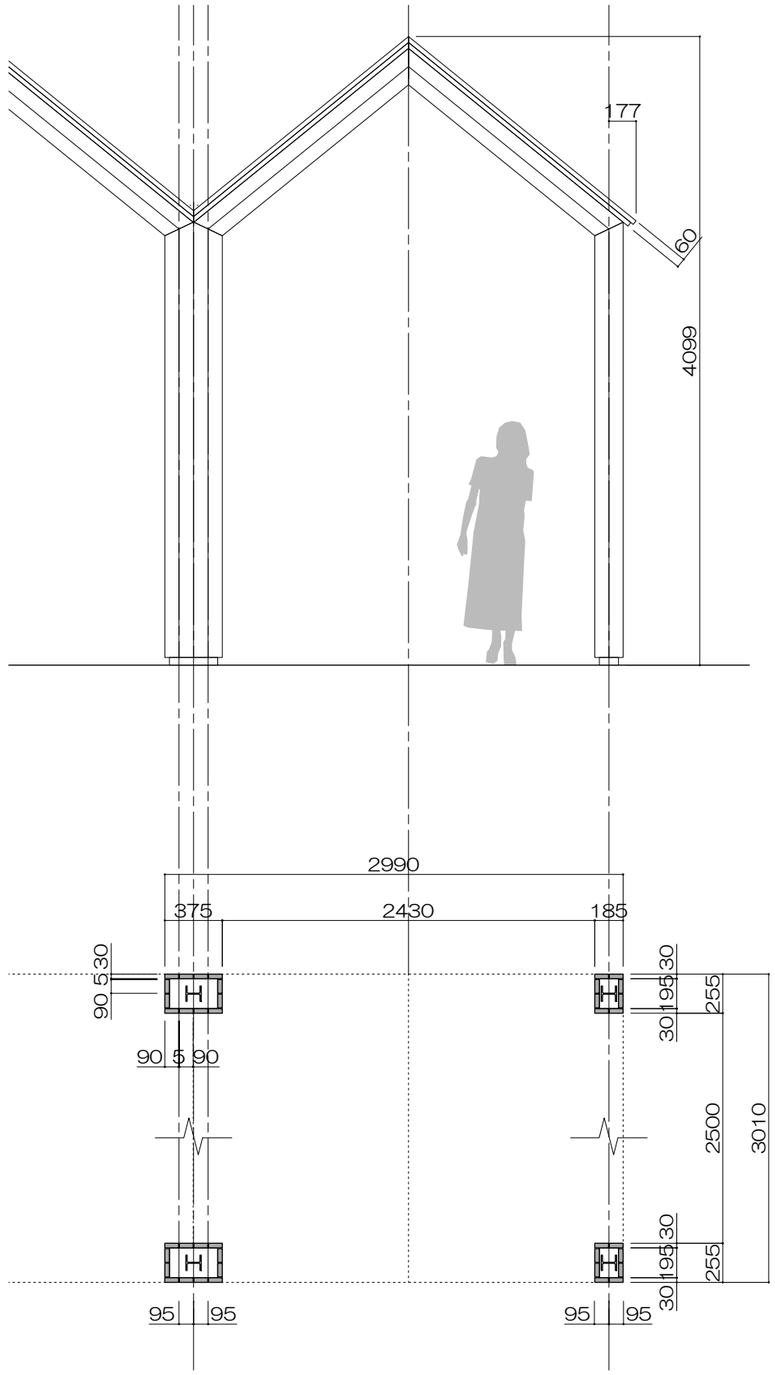
TOKYO TOY MUSEUM × fy design studio

PROJECT		SCALE
TITLE 全体概略図	DATE 2025.06.30	No. A-15





A：構造図

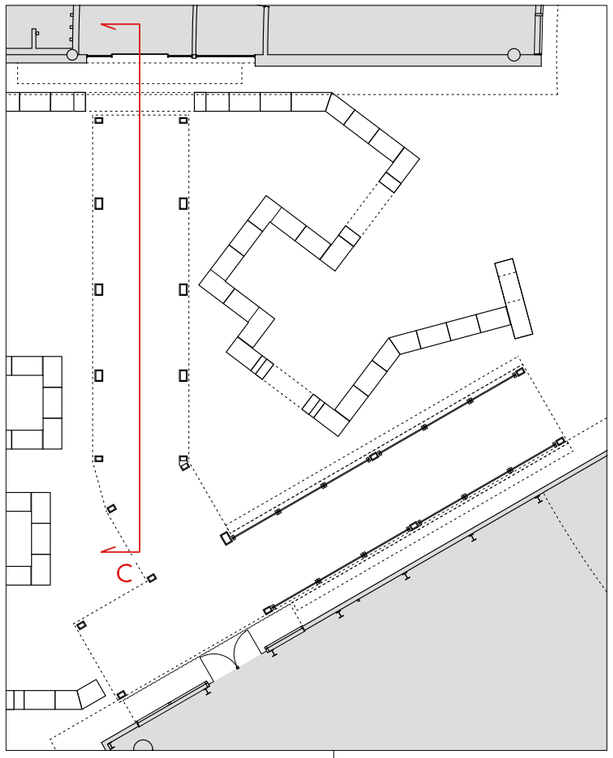


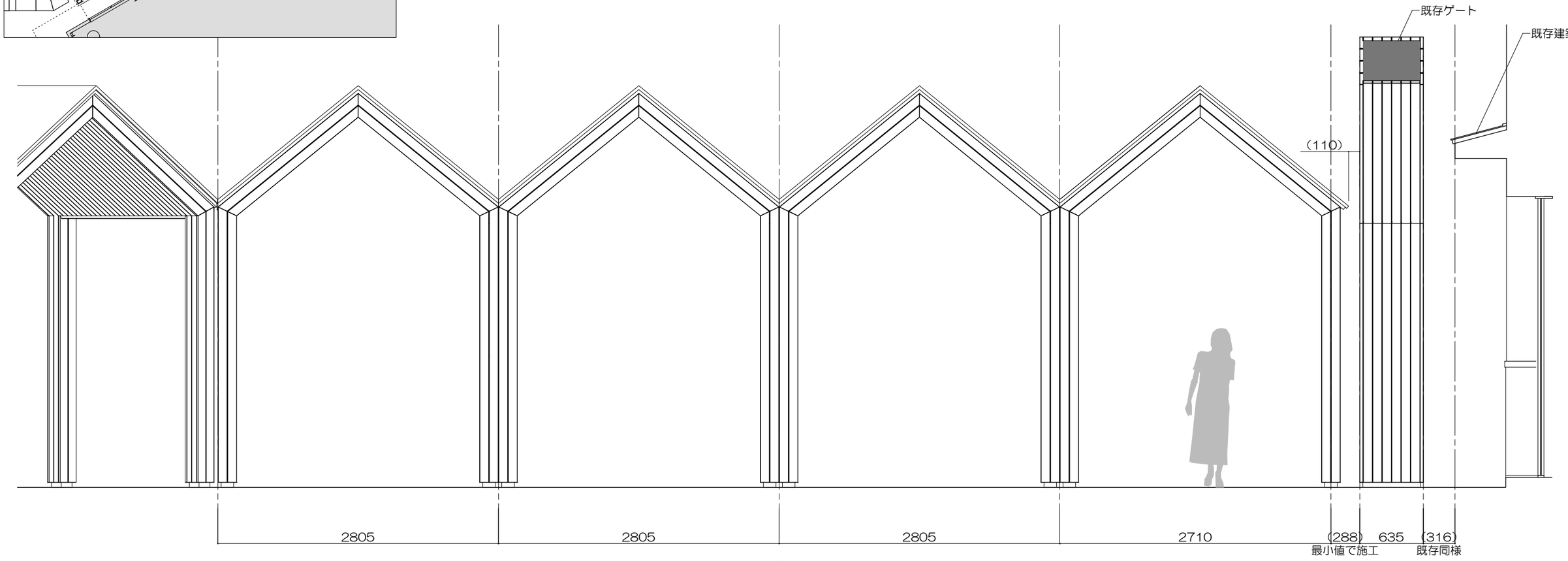
B：平・立面図

■備考　-

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		1/40
TITLE	DATE	No.
部分詳細図	2025.06.30	A-16



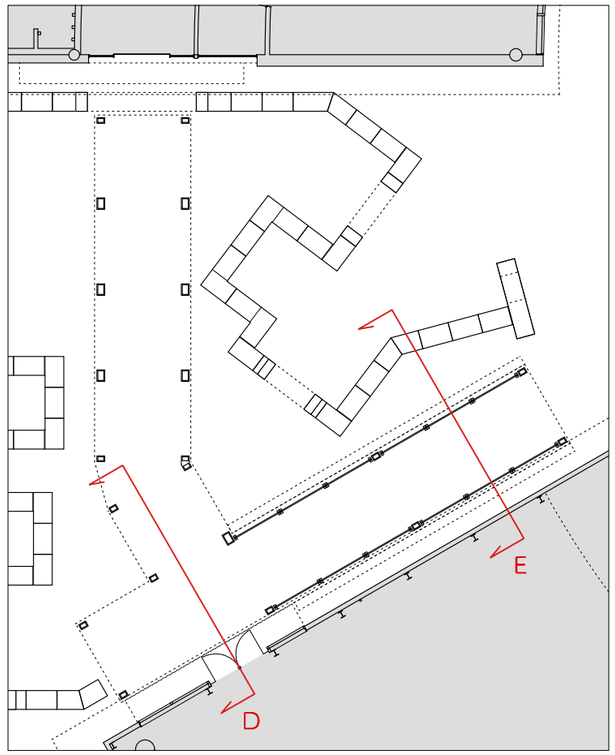


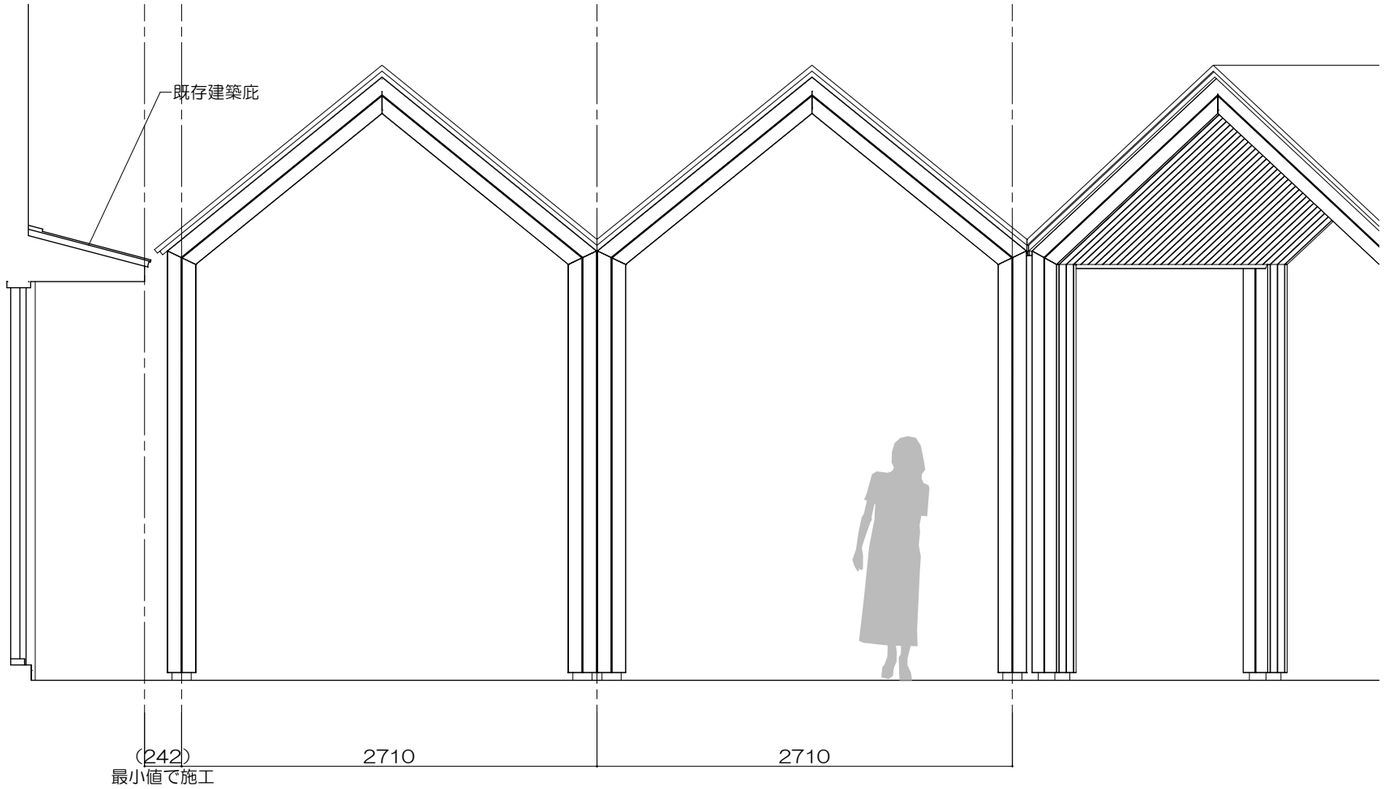
C：展開図

■備考　-

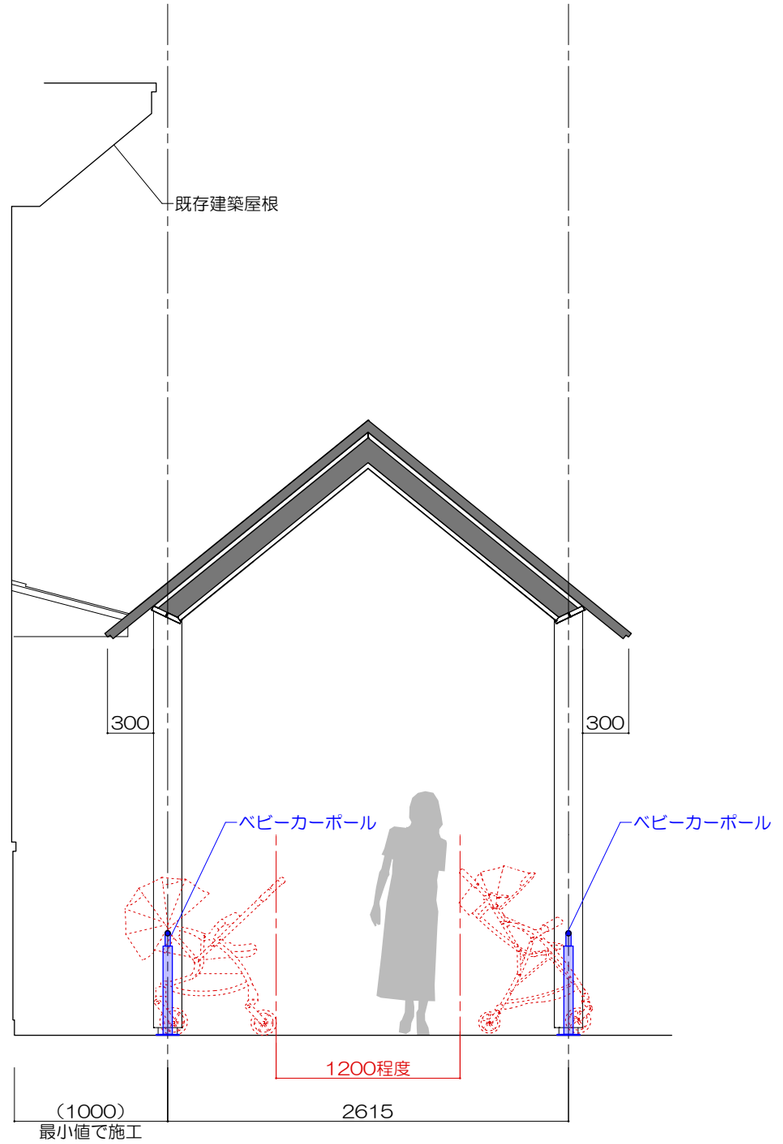
TOKYO TOY MUSEUM

PROJECT			SCALE 1/40
TITLE 部分詳細図	DATE 2025.06.30		No. A-17





D：展開図

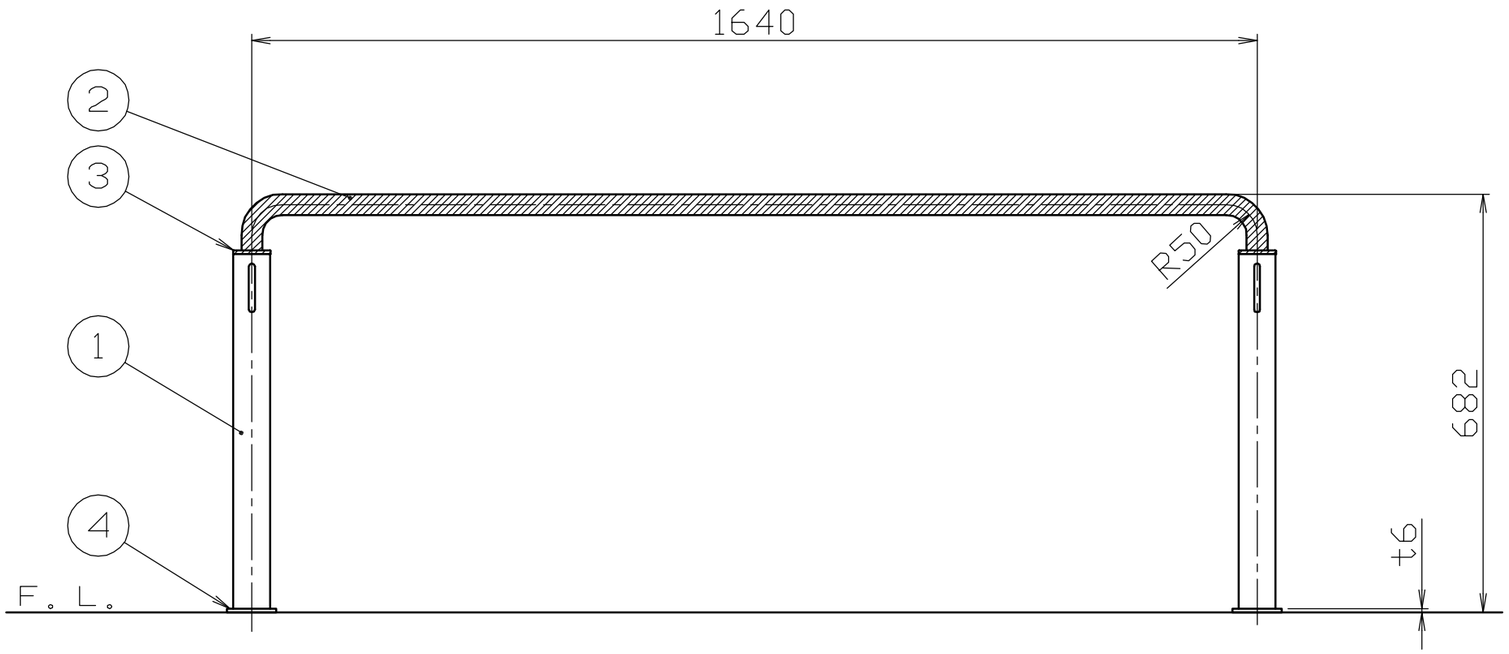


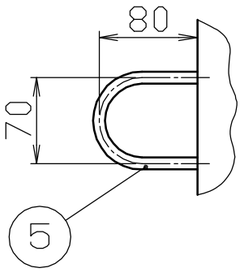
E：断面展開図（ベビーカー置き場エリア）

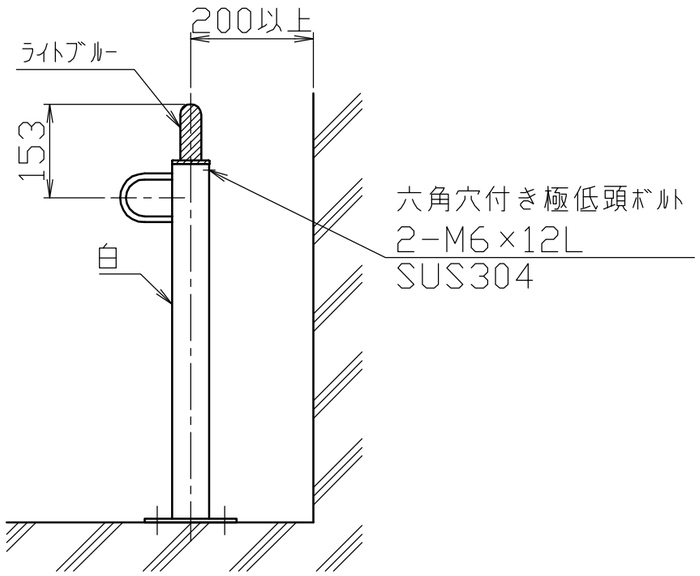
■備考　-

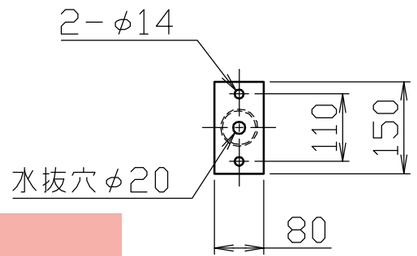
TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
		1/40
TITLE	DATE	No.
部分詳細図	2025.06.30	A-18









パイプ・フランジ		
色番号	色	日塗工No.
139	ライトブルー	日塗工 E69-50T近似色
支柱・ベースプレート・フック		
色番号	色	日塗工No.
020	ホワイト	日塗工 EN-95近似色

■ ベビーカーパーキング

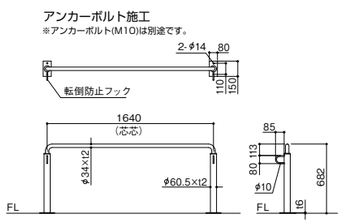
場所をとらない省スペースタイプ

最大**5~6台**収納可能
畳まずに置いた場合は3台
※車種によって異なります

実際の製品と色味が異なって見える場合があります

BP-100B 受注生産品
ベース式
材　質／ステンレス(SUS304)
仕　上／焼付塗装
標準色／支柱：020 ホワイト
　　上部パイプ：139 ライトブルー
寸　法／WP1640×H682
重　量／約 9.0kg
価格／お問合せ
※フロアマットは含まれません

アンカーボルト施工
※アンカーボルト(M10)は別途です。

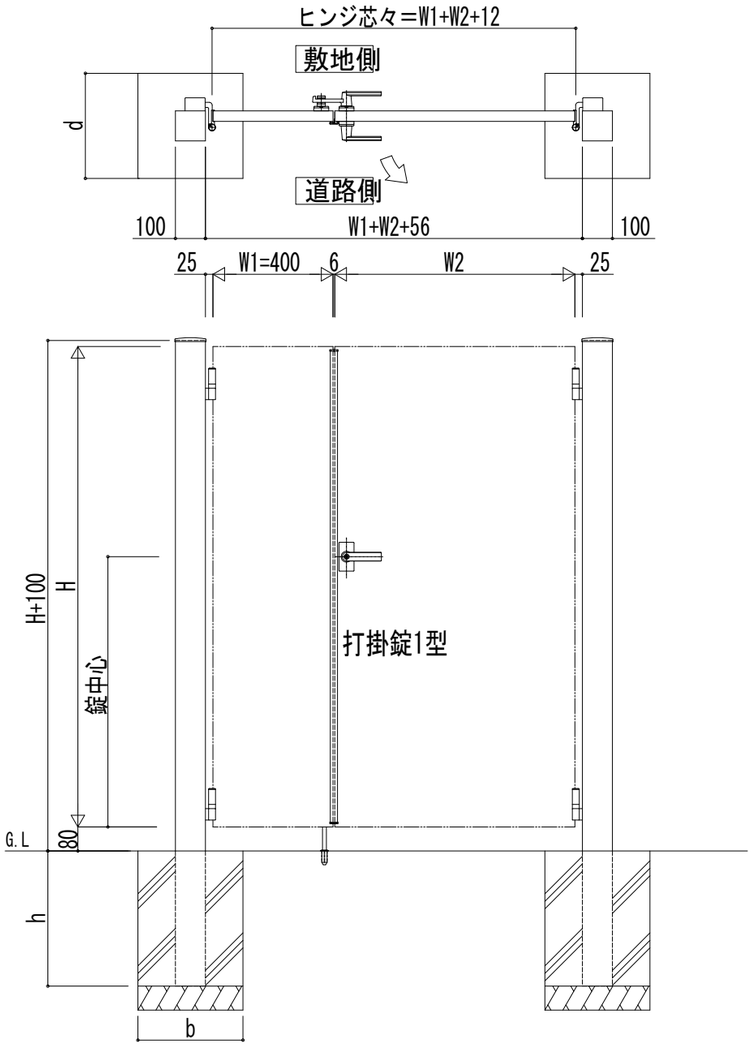


■ベビーカーポール

■備考　-

TOKYO TOY MUSEUM × Fy design studio

PROJECT		SCALE
TITLE 参考資料	DATE 2025.06.30	No. A-19



■基礎サイズ一覧（参考）

独立基礎（長期地耐力：100kN/㎡）			
門柱	h[mm]	b[mm]	d[mm]
100角	450	350	350

H(扉高さ)[mm]	門柱高さ[mm]	錠中心[mm]
1200	1300	800
1400	1500	900
1600	1700	
1800	1900	
2000	2100	

※デザインによりサイズ設定、適用門柱(75角・100角)が異なります。

新商品

エクスティアラ

ルシアス スクリーンフェンス用 門扉

形材門扉

ルシアス

シンプレオ

機能子扉

スルシアス ライド

ルシアス 門扉 TM2型 たて目隠し

商品記号
UME-V-TM2

04･10-14　バニラウォールナット色　打掛錠1型　断熱玄関ドア ヴェナート D30 E14N

04･10-14R　桑炭色　プレートハンドル1型

表裏同一模様

XMAR1554

AR：バニラウォールナット

KG：ナチュラルオーク

YF：キャラメルチーク

YA：ステインウォールナット

WG：桑炭

■管理者用門扉

■備考　-

基本計画特記事項

１ 新設屋外回廊 基本コンセプト

（１）屋外木育スペース（木育のにわ）内に屋根付きの回廊を設置することで、園内アプローチから続く屋根から可能な限り雨に濡れずに館内まで到達できるようにする。

（２）隣接する「くつろぎ館」の木育のにわ側出入口と「徳島木のおもちゃ美術館」のメインエントランスを屋根付きの回廊でつなげることで、天候に関わらず飲食エリアとの日常的な往来や入館待機時の一時避難場所としての連携を強固なものとする。

（３）屋根付き回廊の一部を日ざしや雨雪を防ぐことのできるセキュリティ付きのベビーカー置き場とし、利便性の向上をはかるものとする。

（４）管理者の業務効率の改善をはかるため、管理者用の動線を新たに設けるとともに、出入り口には簡易的な門扉を設置するものとする。

（５）既存の遊具や建築物、樹木の撤去、移設については可能な限り最小限度にとどめた計画とすることで工事費の削減や工期の短縮をはかるものとする。

（６）当館の基本コンセプトを含めた現況の雰囲気や世界観、木育の拠点として相応しい建築物となるように設計を行うものとする。

２ ベビーカー想定収容台数（ワイヤーロック付）

- 畳んでいない状態：最大 36 台
- 畳んでいる状態 ：最大 72 台

３ 各業務の詳細

（１）設計業務の詳細

① 原則として基本計画書に基づいて設計を行うこと。

② 各所の既存屋根と回廊を可能な限り連続させること。

③ ただしメイン看板のシンボル性やインパクトを残すため、看板よりも敷地奥側で回廊を展開させること。

④ 既存物の寸法、納まり、仕様については現場の現況を優先させること。

⑤ 基本計画図に記載がない仕様、寸法、納まりの検討に際しては基本コンセプトの原則に基づき設計を行うこと。

⑥ 構造及び意匠について基本計画図に記載がある事項であっても、優位性、必要性に応じた調整や変更を行い、発注者および利用者の利益向上に努めること。

⑦ ベビーカーパーキング及び門扉については、基本計画説明書に記載している参考商品以外についても比較検討を行い、より優位な製品を提案すること。

⑧ ベビーカー置き場エリアの軒天井の出幅の検討にあたっては、ベビーカーに雨が当たらない（吹き込まない）範囲において最小とすること

⑨ 必要に応じて雨どいを設置するものとし、設置にあたっては可能な限り直接見えないように配慮すること

（2）制作・施工業務の詳細

① 撤去もしくは移設の取り扱いについては発注者と協議の上で決定すること。

② 工事期間中も通常通りの営業を行うことが可能な仮囲い計画を行うこと。

③ エントランスを封鎖する必要が生じた際には発注者と協議の上、封鎖期間や日時の決定を行うこと。

④ 基本計画説明書に記載がない場合においても、補修や修繕を可能な限り行うこと。

（3）その他関連業務の詳細

① 計画通知の要否の確認および、必要であった際の申請を含めた関連業務については設計業務に含まれるものとする。

② 法規の適用および除外等の確認と遵守は実施設計者の責務とする。